みどりの街しんぶん

第３号
平成25年2月発行

花と緑あふれる箕面に・・・

発行：みどりの街しんぶん編集委員会
［連絡先／090-5651-0259 佐藤秀代］

「なでしこ風船」届いた！ 箕面 ⟶ 篠山

● 3月閉校の小学校へ届く

聖母被昇天学院中学校・高等学校（如意谷）の生徒たちが、昨年秋、なでしこのタネやメッセージを結びつけた風船 130個を飛ばしたところ、そのひとつが 70 キロほど離れた兵庫・篠山市の閉校目前の小学校近くに届き“風が運んだ夢”として話題となっています。

風船を飛ばしたのは昨年9月15日。学院祭のフィナーレのイベントとして中学校・高等学校の全校生徒375 名が、なでしこのタネ 10 粒とメッセージを、ゆるキャラ「滝の道ゆずる」のイラスト入り和紙風船に結びつけたうえ、ヘリウムガスで膨らませ、一斉に空高く飛ばしました。

◀空高く風船を上げた被昇天学院の生徒たち

● 1か月後に返事の手紙が

約 1 か月後この風船を拾った篠山市の畑小学校 2 年の児童と三田市の児童から手紙が学院へ届きました。2 通とも風船を見つけた時の驚きや喜びをつづっていました。

しかし畑小学校近くに届いた風船は破れていて、なでしこのタネもありませんでした。

また畑小学校は全校で 23 人しか児童がおらず、今年 3 月には明治 6 年以来続いた140 年の歴史にピリオドをうち閉校、近くの城北小学校に統合されることがわかりました。

被昇天学院中学・高校 ハンドベル&聖歌で交流

こうした事情を知った生徒会が話し合った結果「ぜひタネを届け、児童が新しい学校にかわっても元気で通学するよう励まそう」と決まりました。そして聖歌隊・ハンドベルの生徒ら総勢 42 名が12月19日に畑小を訪問。体育館で早速クリスマスにちなんだ聖歌「さやかに星はきらめき」やクリスマスソングを演奏すると、児童たちも「ふるさと」などを合唱して交流を深めました。

▼ハンドベルの演奏や合唱で交流を深める

体育館には保護者や校区の人たちおよそ 30 人も駆けつけましたが、保護者のひとりは「学校はなくなっても、なでしこが芽を出し花を咲かせるたびにこどもたちはきっと今日のことを思い出すでしょう」と話していました。

◀なでしこの花

市民の花いっぱいの道づくり

市の≪自主管理活動支援制度≫による補助金で、豊川住宅自治会有志の方が活動されています。

花の管理をされている方のそれぞれのコメントです。

〈東小学校北遊歩道〉24 年 10 月撮影

ジニアプロジュージョンとマリーゴールドが暑さ、寒さに強く、元気に咲き続けてくれました。

コキア（ほうき草）は、夏には涼やかな緑を、秋には鮮やかな紅の葉が楽しめました。

〈豊川住宅バス停近く〉24 年 10 月撮影

安くて、花期が長く、丈夫な花を買い、交代で手入れをしたので、夏も秋も、花はずーと元気に咲き続けました。

7、8 年前から「外院南4号緑地」にお花を植えられている方は、木道の両側の花壇に、ご自宅にあった宿根草や花、アーモンドの木や桜など、さまざまな木や花を自費で植え、道行く人たちの目を楽しませてくれています。

この冬に種をまいたワイルドフラワーが、春に次々と咲くのを心待ちにされています。

24年7月撮影

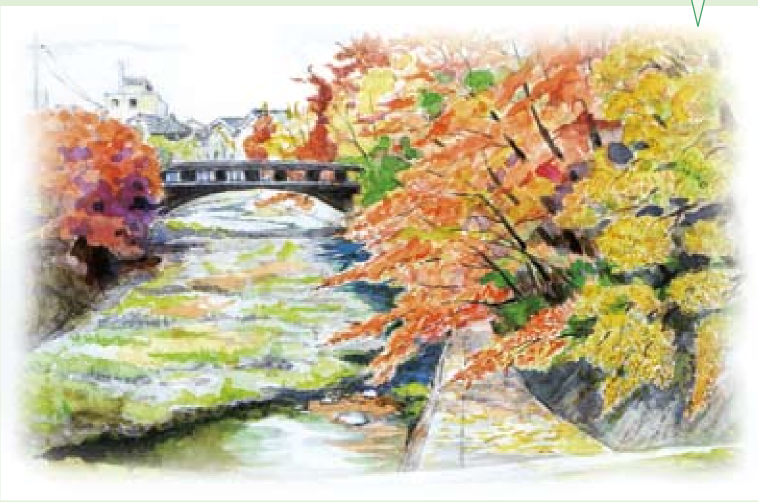
赤紫や白の葉ボタン一段と鮮やかに

山麓線南の新稲に広がる葉ボタン畑。この冬はひときわ鮮やかさをましていました。

稲治義彦さんの約 30 アール（3 反）の畑には門松用の丸葉葉ボタン、茎の長い生け花葉ボタンが咲き競い、なかには葉の直径が 50 センチを越える大ものも・・・。

「株数？ざっと 2 万株ほどでしょうね。このあとしゃくやく、コスモスと続きます」とのことです。

紅葉橋のもみじ



画：岡島信博さん（みのお市民まちなみ会議）

秋が深まると「いろはかえで」が箕面川に影を落とし、石造りの紅葉橋とともに市内でも有数の景観を誇ります。

この画は、一つ川上の田村橋からの眺めです。

秋のお花の街めぐり

昨年 11月に小野原西のすてきなお庭をめぐるツアーが「市民プロジェクトみどり」の主催で行われ、21 名が参加されました。小野原西はほとんどがオープン外構のお庭なので、外から眺めながらの約 2 時間のツアーでしたが、3 軒のお宅とリハビリテーション病院は、お庭の奥の方も見せていただけました。

秋も深まり紅葉しかかった木と秋の草花とがうまく調和した庭や、おしゃれな空間を演出された庭も素敵でした。

小野原西

この春もツアーを予定しています。読者の方でお薦めの場所がありましたら、「みどりの街しんぶん」に連絡して下さい。

情報プランター

“ 市民園芸ファーム” づくりの人材を募集!

箕面の花とみどりの活動拠点 “ 市民園芸ファーム（農園）” づくりが始まりました。12 月、取組を呼びかける「プロジェクトみどり」がかやの中央の古井戸公園で、長年、放置され雑草のタネいっぱいの表土をはぎ取り、本格的な花苗づくりなどへの準備をしました。市の協力を得て、ボランティアを集めこの春から進めます。

新メンバー募集!
説明会 & 現地見学

2013年 3月12日（火） 午後1:30～3:00
場所：みのお市民活動センター（かやの中央）　参加費：無料
お問合せ　090-9092-3909（上田）

▲ 始まった“ 市民園芸ファーム” の準備（かやの中央地区・古井戸公園）

古土再生の講演会

古い土をよみがえらせるにはどうすればいいのか。そんな講演会が昨年 12月、みどりのカーテン広げ隊主催で開かれ、園芸家、上田芳弘さんが次のように話しました。＝写真

一度使った土は、酸性化し必要な微量元素も欠乏しています。また害虫が巣食っている場合もあります。古土を再生するには、夏は水を加えて透明袋に入れ 2 週間、紫外線と熱で殺菌します。冬は 1 ヶ月間、寒風にさらします。その後、苦土石灰を混ぜて酸度調整をし 1 週間後、腐葉土・堆肥を混ぜ、さらに 1 週間以上置いて使用します。古土の量が少ない場合は、園芸店で販売している再生材を利用するのもいいでしょう。

みどりの掲示板

瀬川 センダンの大木「伐採」or「保護」

瀬川のセンダンの大木
（昨年 11 月／今は落葉中）

●府と住民との話し合い続く

箕面川と石澄川との合流点のセンダンの大木などが護岸をひび割れさせ治水面で危ないと、河川管理者の大阪府池田土木事務所が全面伐採を打ち出しました。これに対し、瀬川などの周辺住民が「地域のシンボルであり、残して欲しい」との声をあげています。

住民側は1月9日に「（風圧を弱める応急的な）必要最小限のせん定を行うとともに、護岸を強化し保全する」よう要望書を出し、同土木事務所側は護岸工事には多くの費用がかかるとしつつも慎重な検討を約束。景観と治水との接点への話し合いが続いています。

護岸には、ひび割れも・・・▶

里山風景とどめる「勝尾寺表参道」

粟生外院の帝釈寺から山麓線（府道箕面池田線）を北に渡り、1,2 分歩くだけで懐かしい里山風景が広がっています。30 年前は市内にこんな風景があちこちで残ってましたが、今はごくわずかになってしまいました。田畑やあぜ道、ため池の土手が里山の風景を残しています。東部の小学校では、遠足でこの道を歩いて勝尾寺まで行きます。子供たちの為にも、こんな風景をずっと残せたらと思います。

南斜面のこの野辺の道にはいろんな野草が咲きます。秋に撮った写真をご紹介します。

左／マルバルコウソウ▶
右／ツリガネニンジン▶

■参道の歴史

阪急バスの「新家」のバス停南の旧西国街道の大鳥居からほぼまっすぐ北に向かい勝尾寺まで続く道（約4km）で、かつては 36 あった町石も今は 20 基ほどしか確認されていません。

七町石までの町石は国内最古で、国の史跡に指定されています。

※ 町石 ＝ 寺までの距離を示す石塔

Column

街路樹は泣いている 紅葉前に丸坊主

今はまちの中の多くの街路樹が葉を落として眠っていますね。街路樹が植わっているのかどうかも気付かないくらい寂しくなっているところもあります。早く春が来て花が咲き青々と茂って欲しいものです。

箕面の道路にはどんな木が植えられているかご存知ですか。一番多いのはクスノキで、ケヤキ、イチョウ、プラタナス、ユリノキ、桜なども多いようです。桜は花の時季があまりにも美しいので苦情も少ないようですが、他の樹木は秋になると葉が落ちて（クスノキは初夏に落ちますが）掃除が大変と市役所に苦情が殺到するそうです。

葉が落ちる前に切ってしまえという要望もあって、葉が青々としている夏の終わりにはもう葉が切り落とされてしまって、丸坊主になっている街路樹を見かけませんか。

可愛そうですね。秋の紅葉が特に美しいトウカエデやアメリカフウも紅葉する前に切られることがあります。人間は街路樹を勝手に植えて、その自然の営みを許さないのです。

落ち葉は秋の風情を我々に与えてくれますが、確かに多すぎると厄介です。しかし、街路樹を植える以上は、市民の手で落ち葉を拾うなど自然と共生できるまちの風土を育み、箕面をもっとみどり豊かなまちにしたいですね。

サポーター大募集!!

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどんどんお寄せください。

情報ご連絡先 shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259（佐藤まで）

ブログ みどりの街みのお 検索！

このしんぶんは箕面市の「まちなかのみどり支援事業」の助成を受けています。
編集協力：市民プロジェクトみどり

みどりの街しんぶん 第 2 号 平成 24 年 10 月発行 発行：「みどりの街しんぶん」編集委員会 E-Mail：shimin.puroj.midori@gmail.com 連絡先：090-5651-0259（佐藤秀代）